

週間漁海況情報—第30号

平成28年8月2日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

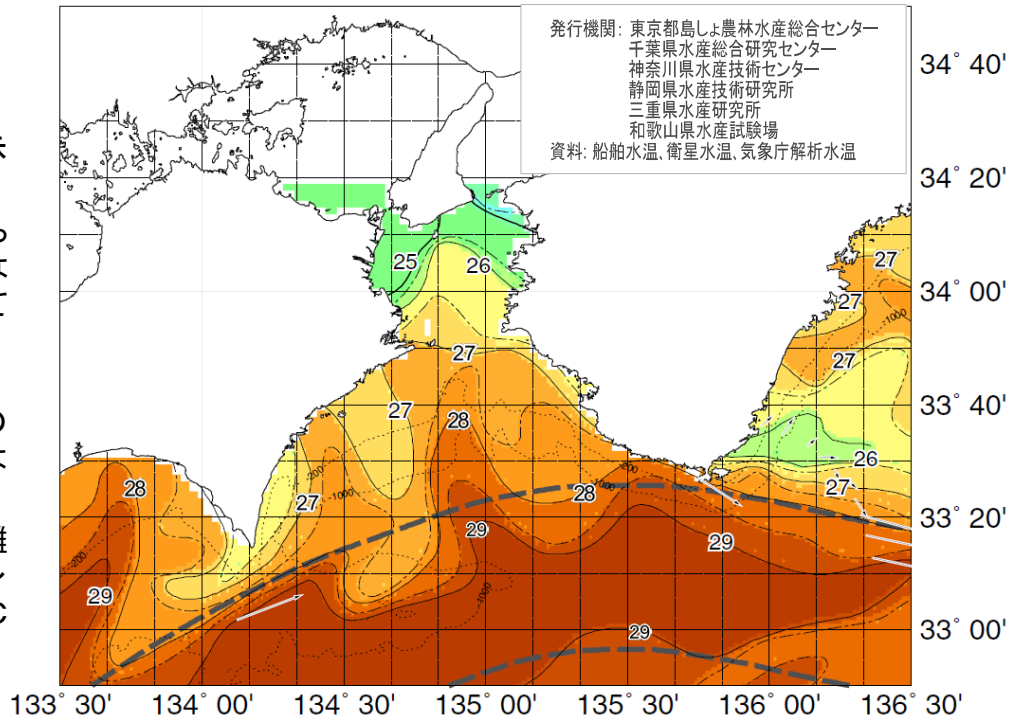
1. 周辺海域の水温

右に8月2日時点の海況図を示した。

黒潮は、室戸岬沖では先週から引き続き「やや離岸」、潮岬沖では先週から引き続き「接岸」となっている。黒潮本流の表面水温は、28℃台～29℃台である。

室戸岬東部の沿岸で、水温の低い状態が続いていたが現在はやや落ち着いている。

徳島沿岸の表面水温は播磨灘で24℃台、紀伊水道で24℃～26℃台、海部沿岸で26℃～27℃台である。

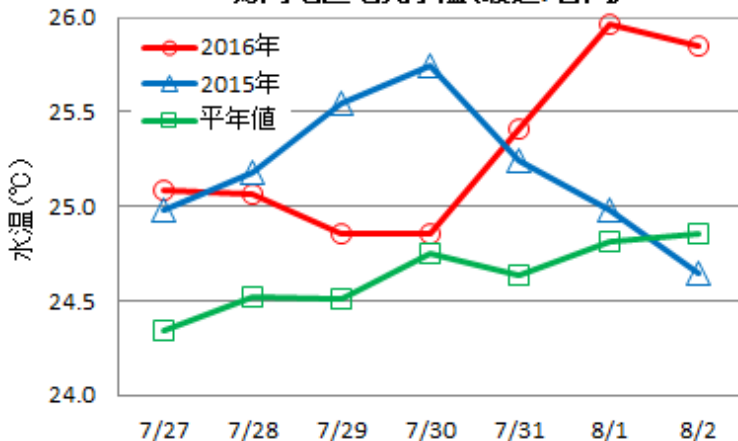


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

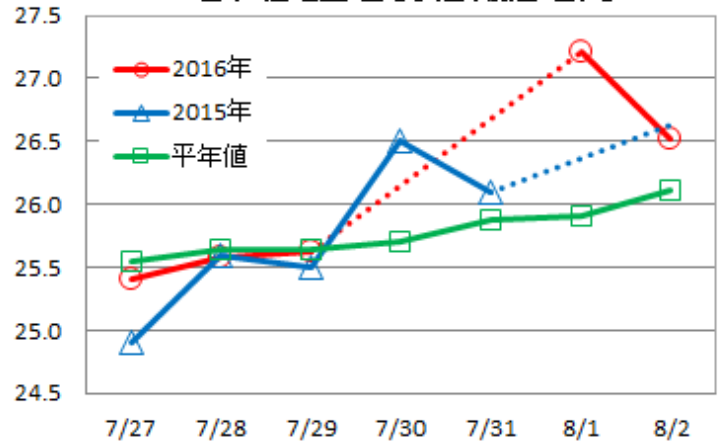
2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は、「やや高め」一時「平年並み」の24.9℃～26.0℃、日和佐地区は「平年並み」一時「やや高め」の25.4℃～27.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の25.2℃～27.0℃であった。鳴門地区は期間前半横ばいで後半で大きく上昇した。日和佐地区は土日欠測。

鳴門地区地先水温(最近7日間)



日和佐地区地先水温(最近7日間)



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上
 ※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平均値
 牟岐地区: 1991年～2015年の平均値

3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖は離岸傾向が予測され「やや離岸」のち「離岸」、潮岬沖は「接岸」のち「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の25℃台後半～26℃台、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の26℃台後半～27℃台で推移する見込み。

漁況 7月18日～7月24日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

全体の漁獲量は前週並み。
 船びき網では、シラスが32.6ト水揚げされた。
 釣りでは、イサキが前週並みの0.6ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが前週並みの7.9ト、タチウオが減って3.6ト水揚げされた。
 小型定置網では、イサキが減って1.6ト、マアジが増えて0.6ト、ゴマサバが大きく減って0.4ト水揚げされた。
 底びき網は、ハモが前週並みの7.7ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は減った。
 釣りでは、まぐろ類が前週並みの2.6ト水揚げされた。
 延縄では、アカムツが減って0.4ト、かさご類が増えて0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが小小主体に0.4ト、カンパチが0.3ト水揚げされた。前週水揚げの多かったマイワシはほとんど水揚げされなかった。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	87	シラス	32,625	375		→
	釣り	36	イサキ	560	16	大主体	→
	延縄	65	ハモ	7,908	122	中主体	→
			タチウオ	3,593	47	特大主体	↘
	小型定置網	25	イサキ	1,647	66		↘
			マアジ	597	28	小小主体	↗
			ゴマサバ	428	31	大主体	↘↘
			アイゴ	242	13		→
底びき網	48	ハモ	7,670	160	中主体	→	
海部沿岸	釣り	369	まぐろ類	2,596	7		→
	延縄	21	アカムツ	444	21		↘
			かさご類	233	18		↗
	小型定置網	20	マアジ	399	20	小小主体	↗↗
			カンパチ	254	32		↗↗
ウルメイワシ			211	16		↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↘↘